

杜

笠原小中ニュース

《第 1 号》
令和6年2月
笠原幼保小中一貫教育研究会
多治見市教育委員会

「夢と希望にあふれる開校をめざして」

令和8年4月、多治見市で初、県内でも6校目の義務教育学校として笠原小中学校が開校します。現在、地域や各校種の代表で構成する『笠原幼保小中一貫教育研究会』及び笠原小・中学校と連携を図り、施設等のハード面と教育内容等のソフト面について開校に向けた準備を進めています。

義務教育学校における9年間（前期課程6年＋後期課程3年）を見通した教育の充実により、いわゆる“中1ギャップ（大きな環境変化への適応の困難さ）”の解消など、その効果に大きく期待が膨らみます。笠原地域では、平成18年の合併前から幼保小中一貫教育を推進しており、英語教育や道徳教育などにおいて素晴らしい成果を上げてきました。とりわけ20年にも渡る『文部科学省研究開発学校・教育課程特例校』としての英語教育は、その代表的な取組といえるでしょう。

このように、地域全体で子育てに向かう笠原の風土を基盤に、新たな学校として夢と希望にあふれるスタートをめざしていきます。今後も、保護者のみなさま、地域のみなさまに笠原小中学校開校に向けた取組を『杜・笠原小中ニュース』でお知らせしていきます。

笠原小学校の仮設校舎完成

◇笠原中学校の敷地内に建設中の仮設校舎が完成しました。まだ、教室等には何も入っていませんが、今後は備品やロッカー等が順次搬入され、令和6年3月30日の引越し完了に向けて準備をしていきます。



< 全景 >



< 普通教室 >

◇笠原小学校の校舎お別れ会

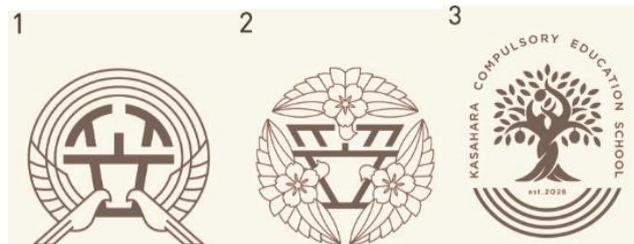
令和6年4月6日（土）午前10時から午後3時まで開催します。
当日は、不用物品の即売等を予定していますので是非お立ち寄りください。

✓校章アンケートを実施しました！

（R6.2.5～R6.2.15）

笠原小・中学校の児童生徒に下の1～3から1つをえらぶアンケートを実施しました。

アンケート結果については、次号でお知らせします。



校章（案）

☆各ワーキンググループの進捗状況

※WGは、分野ごと（校長・教頭・教務主任・生徒指導）に笠原小中学校について議論する部会のこと。

★教務ワーキンググループ

日課について

学校生活の時間の区切りを検討しています。授業時間は、小学校では45分授業、中学校では50分が基本となっていますが、「朝活動時間にはみんなで同じことに取り組もう」「掃除は一緒にやってはどうか」など、小中学校の良さを生かし、9年生までと一緒に活動できる時間も考えています。一方で、「休み時間と授業時間が重なるのでは？」「開始や終了のチャイムが分かりにくいのでは？」という課題もあります。そうした課題については、視察した学校を参考に、よりよい学校生活を送れるように考えています。

また、「教科担任制」を前期課程でも取り入れていくよう検討しています。専門の先生と授業をすることで、より効果的な9年間の学びができると考えています。

こうしたことを、隣の校舎で過ごす令和6年度からできることは試行し、同じ校舎で生活する令和8年度に向けて調整をしていこうと考えています。

★教頭ワーキンググループ

仮設校舎への引越しに向けて・・・

まずは、年度末の小学校引っ越し作業に向けて、今後も使用する物と廃棄する物について検討しました。引っ越しが間近となった現在、小学校は引っ越しの準備を進めています。

学校行事・PTA組織等について

令和6年度以降、段階的な移行を進めるため検討しています。

（学校行事）

○運動会・体育大会、宿泊行事の開催時期

○始業式と終業式の行程

（PTA組織）

○役職精選

○令和6年度の小中合同会議実施

（学校運営協議会）

○構想づくり ○準備委員会の発足

★生徒指導ワーキンググループ

後期課程（中学生）制服等について

児童生徒・保護者・教員へ制服アンケート実施

令和6年度・・・ジャージや鞆等の検討

令和7年度・・・全てのスタイルの説明

（PTA総会時）

※アンケート結果については、次号でお知らせします。

通学路について

笠原小学校の地区委員の方々にご協力いただき、プレハブ校舎への道筋を確定することができました。

3月には、お試し登校を実施し、今年度中に子どもたち自身が通学路やプレハブ校舎の使い方について学習をする予定となっています。

